令和8年度
建設業の働き方改革に関する労働時間等説明会
アンケート結果について（概要）

令和8年9月に県内4地区で開催した「建設業の働き方改革に関する労働時間等説明会」において実施したアンケート結果を集計しました。

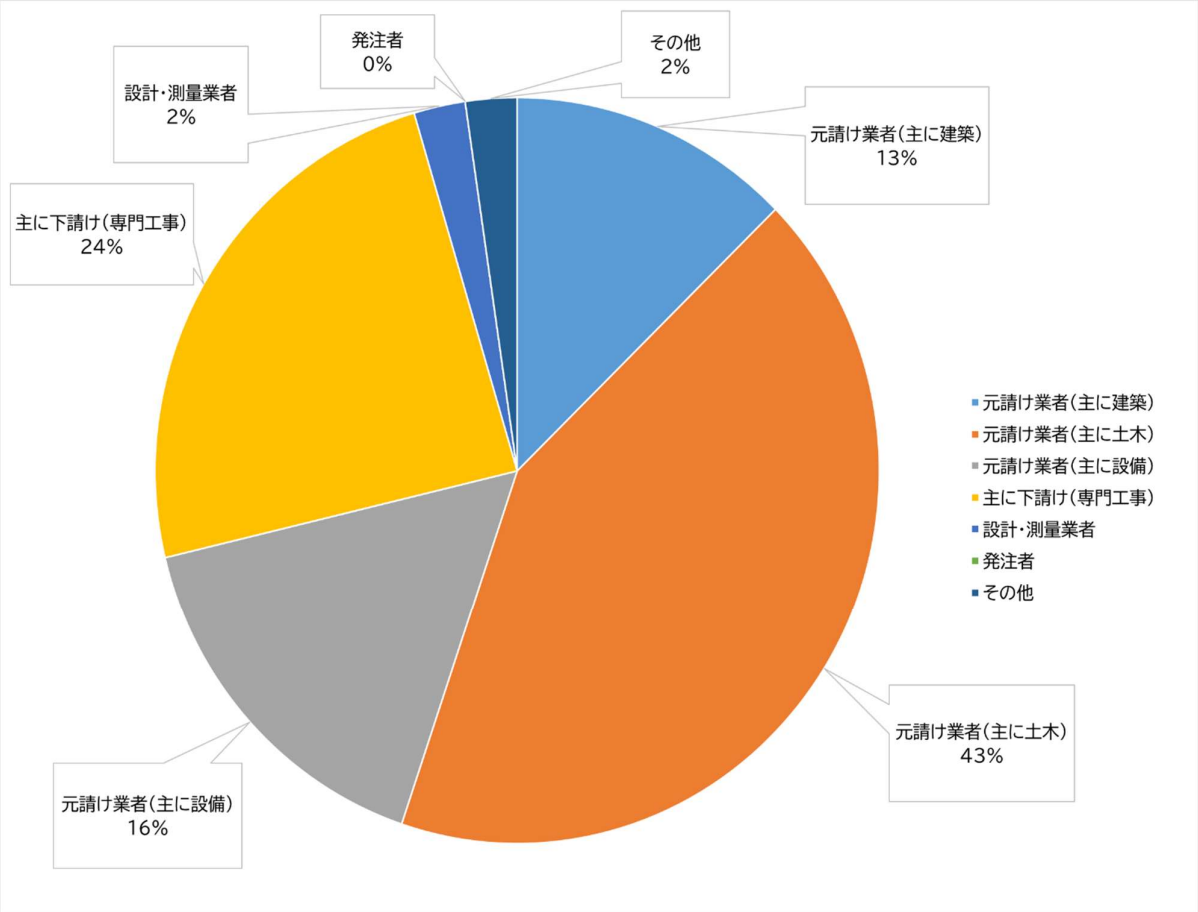
説明会開催地区

令和8年9月2日	中南部地区
令和8年9月3日	北部地区
令和8年9月 16 日	宮古地区
令和8年9月 17 日	八重山地区

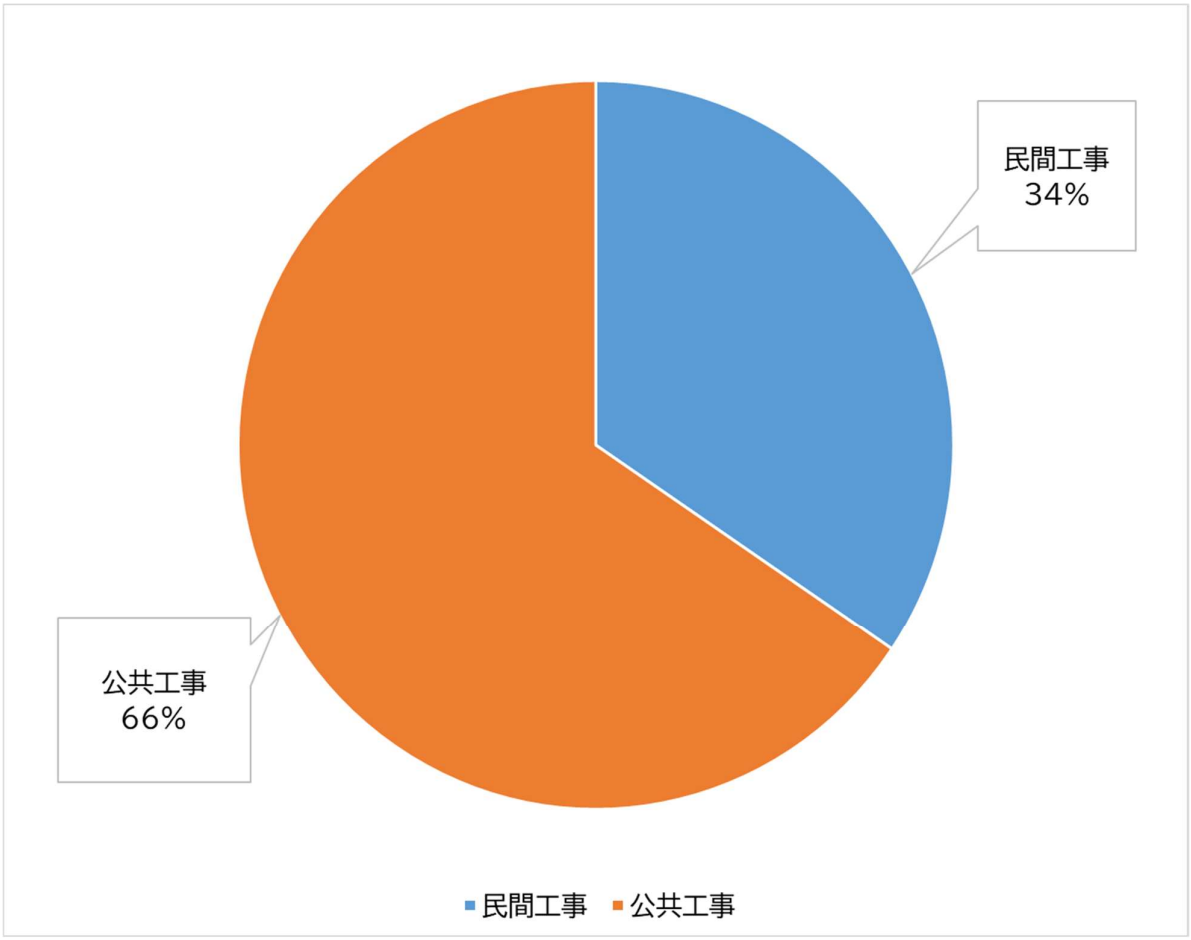
建設業労働時間削減推進協議会　事務局

（沖縄労働局労働基準部監督課）

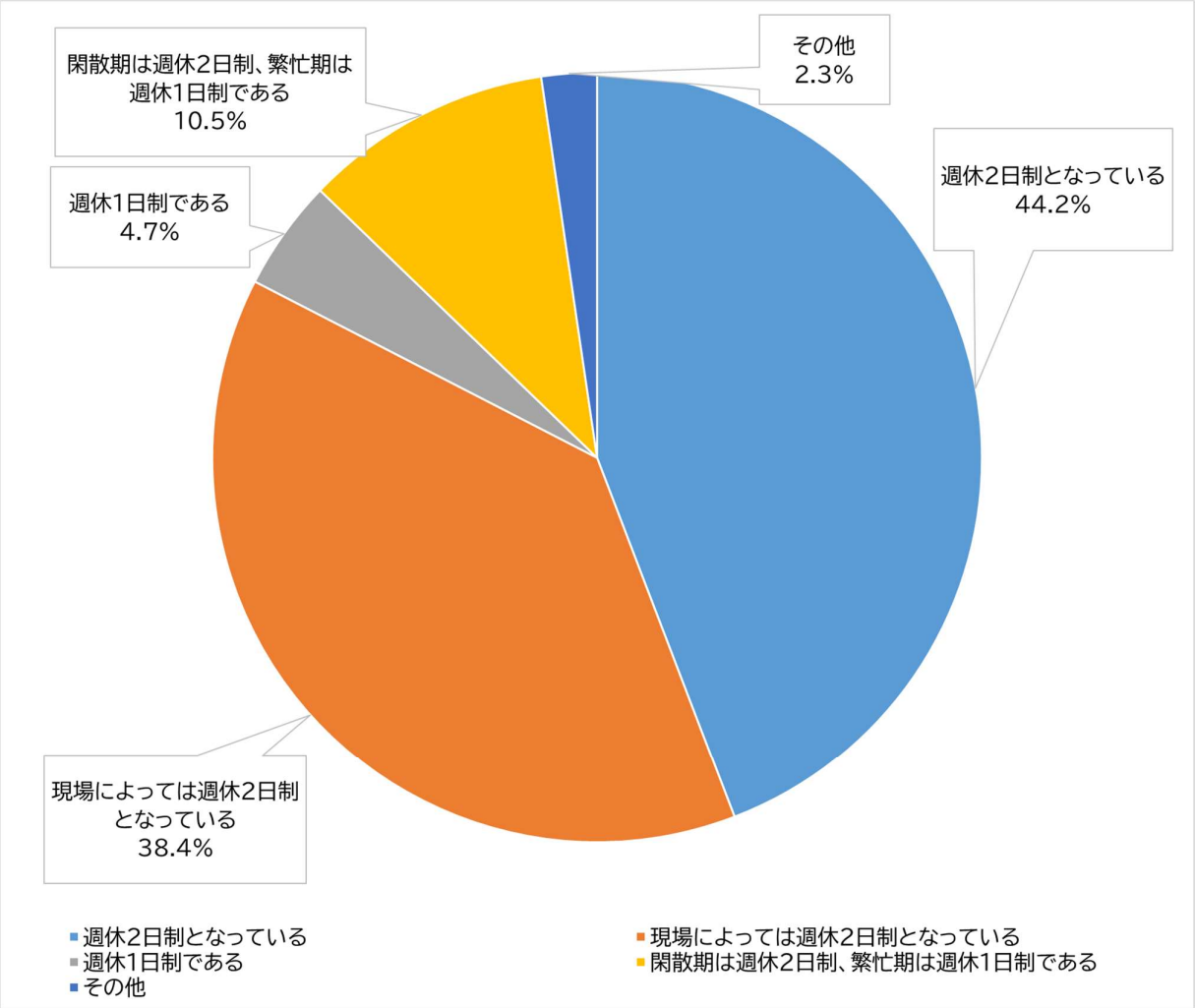
設問1　説明会に参加された方の所属等について



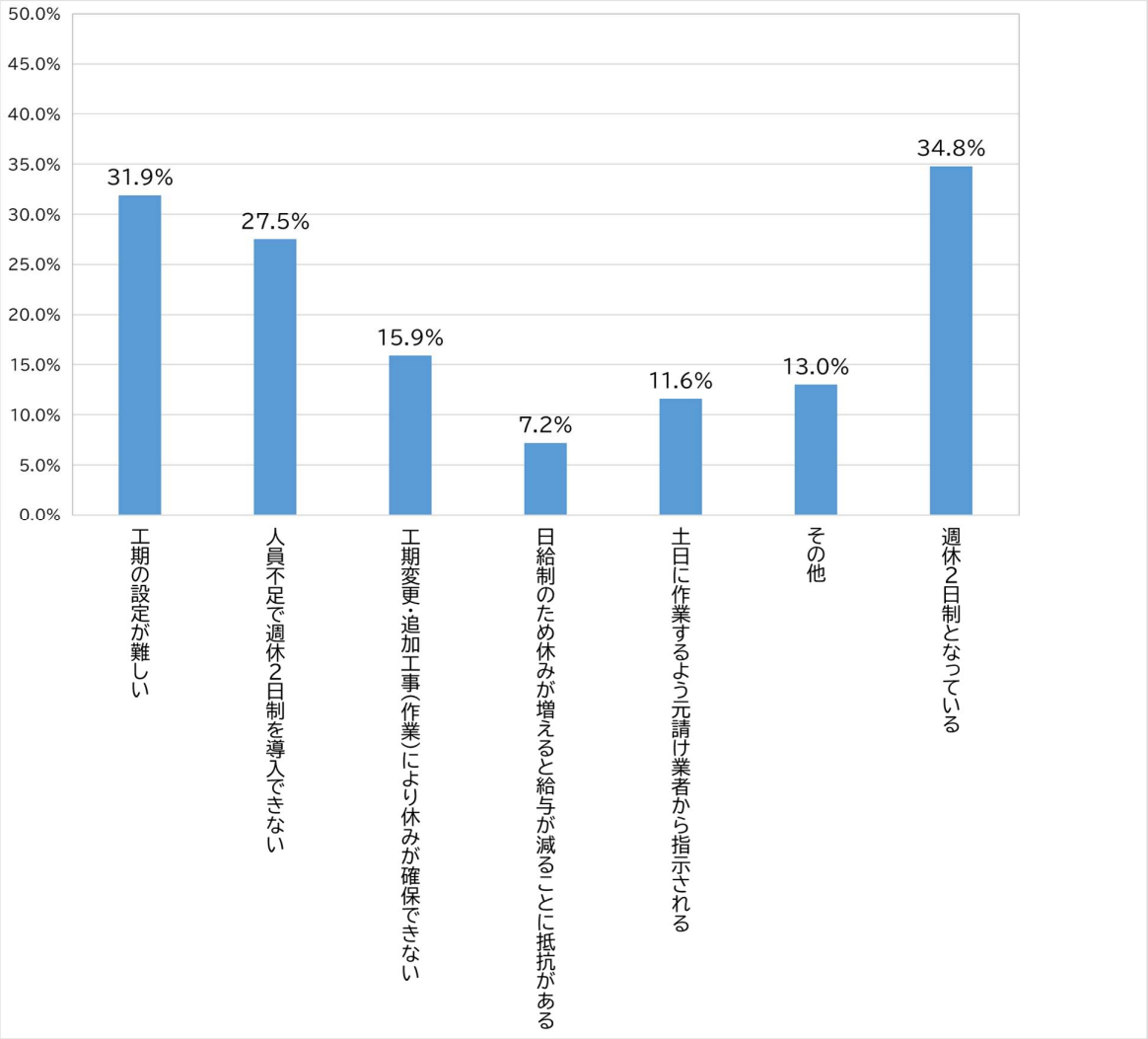
設問2　主に受注している工事



設問3　現場は週休2日制となっていますか



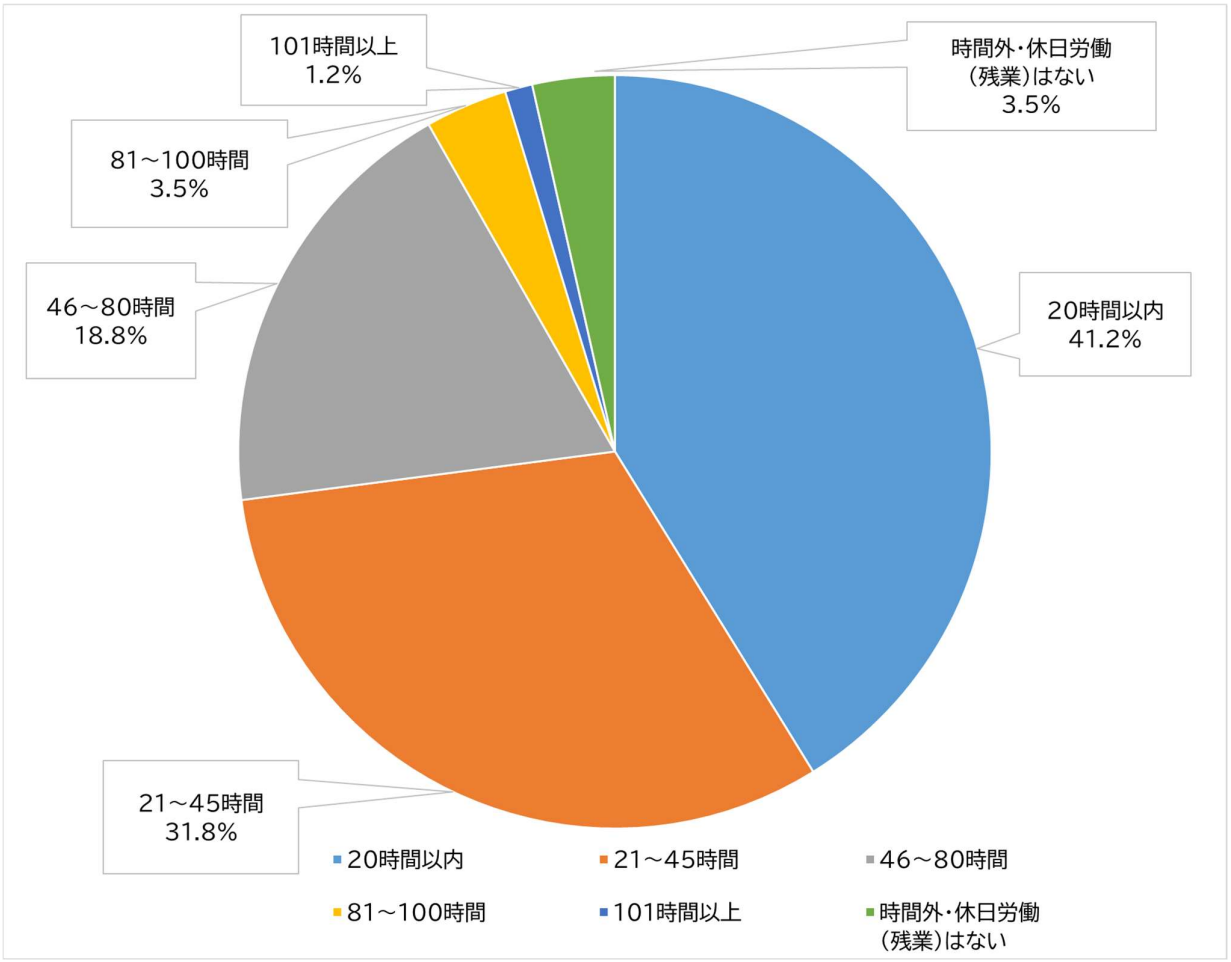
設問4　週休2日制ではない理由について（複数回答可）



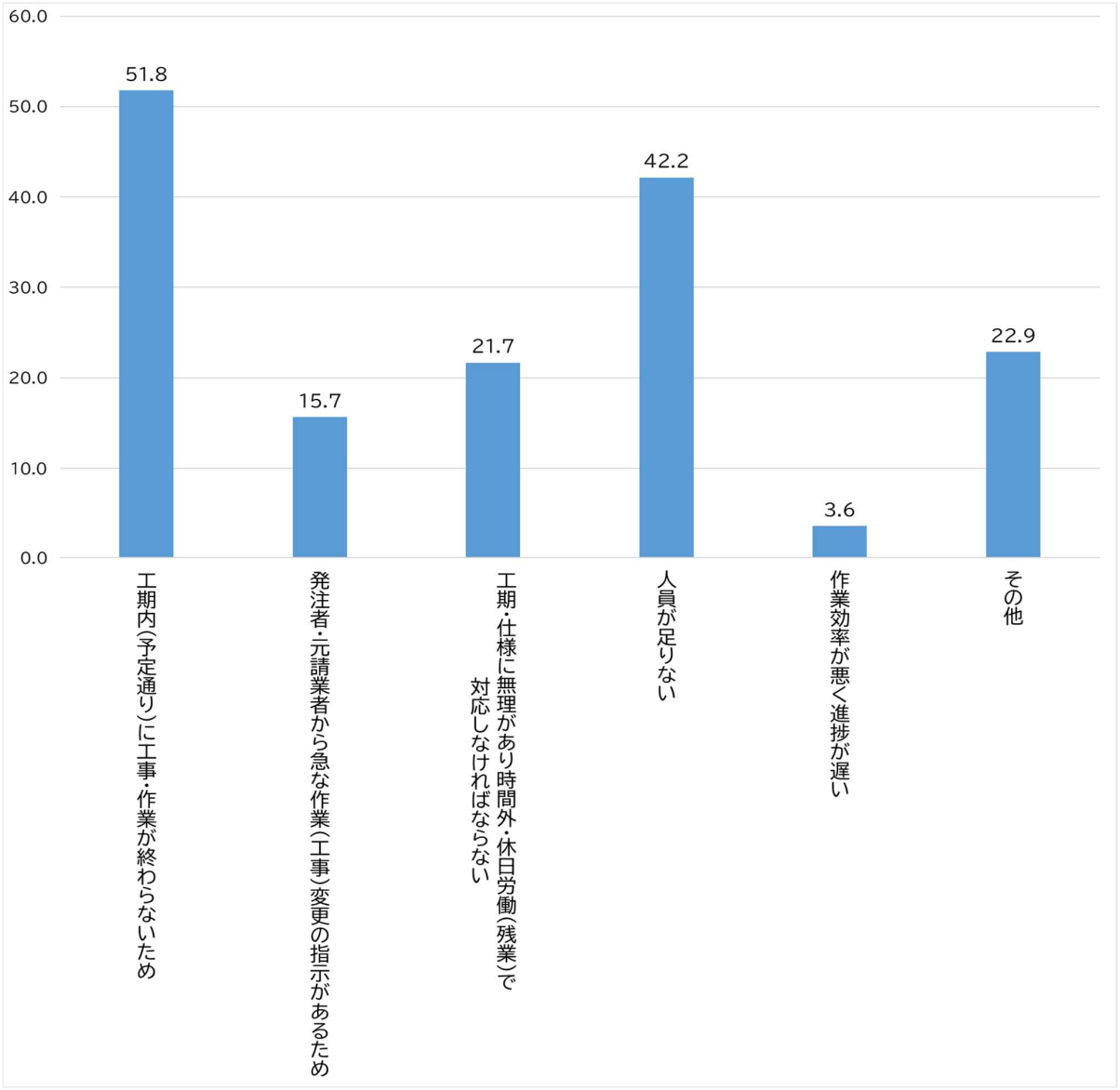
※各項目の回答数/設問の回答人数

※設問3で「週休2日制となっている」と回答した場合は、本設問において「週休2日制となっている」を選択。

設問5　令和7年中で1か月の時間外・休日労働時間数（残業時間数）が最長の方について

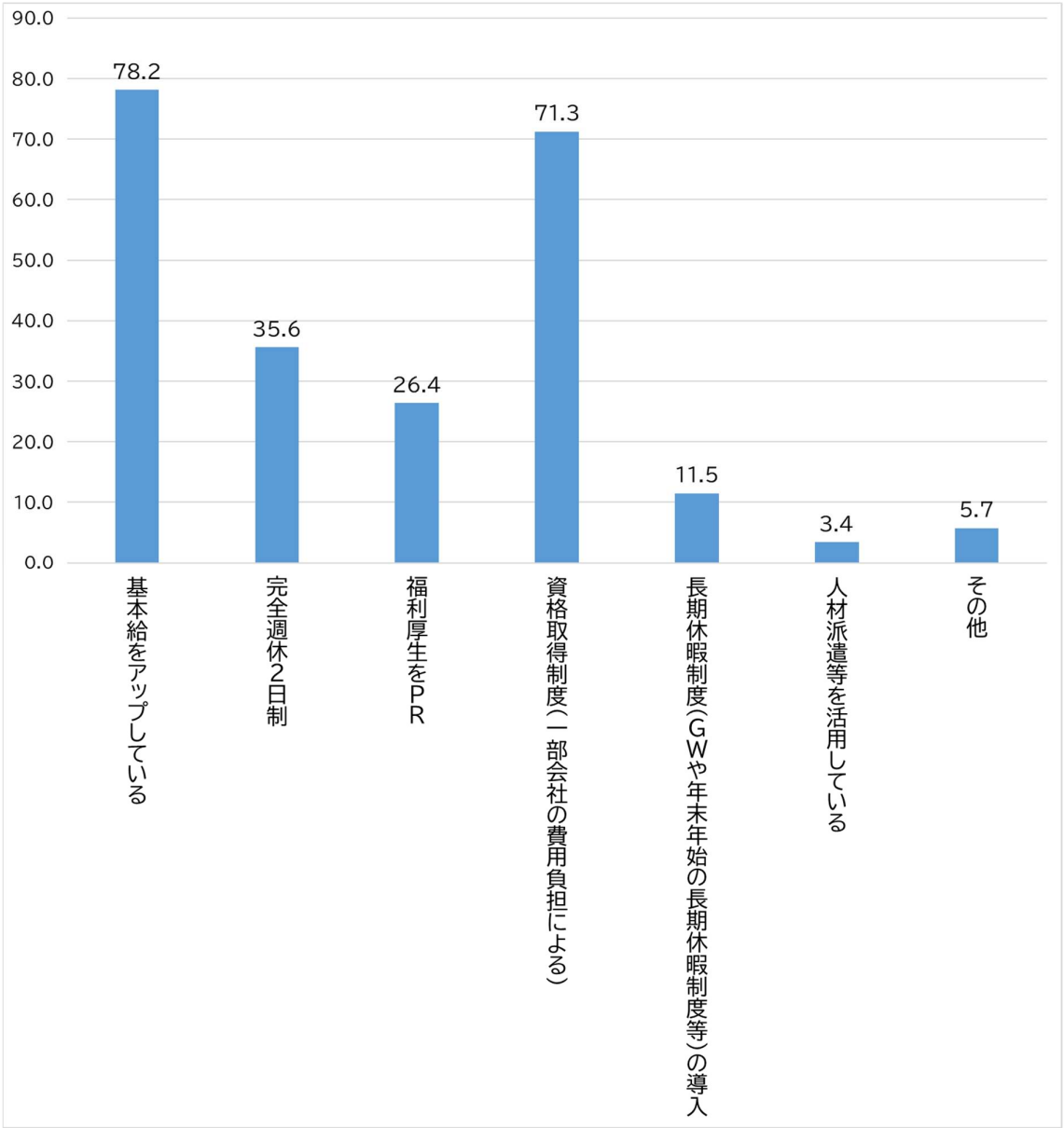


設問6　時間外・休日労働時間（残業）が発生する理由（複数回答可）



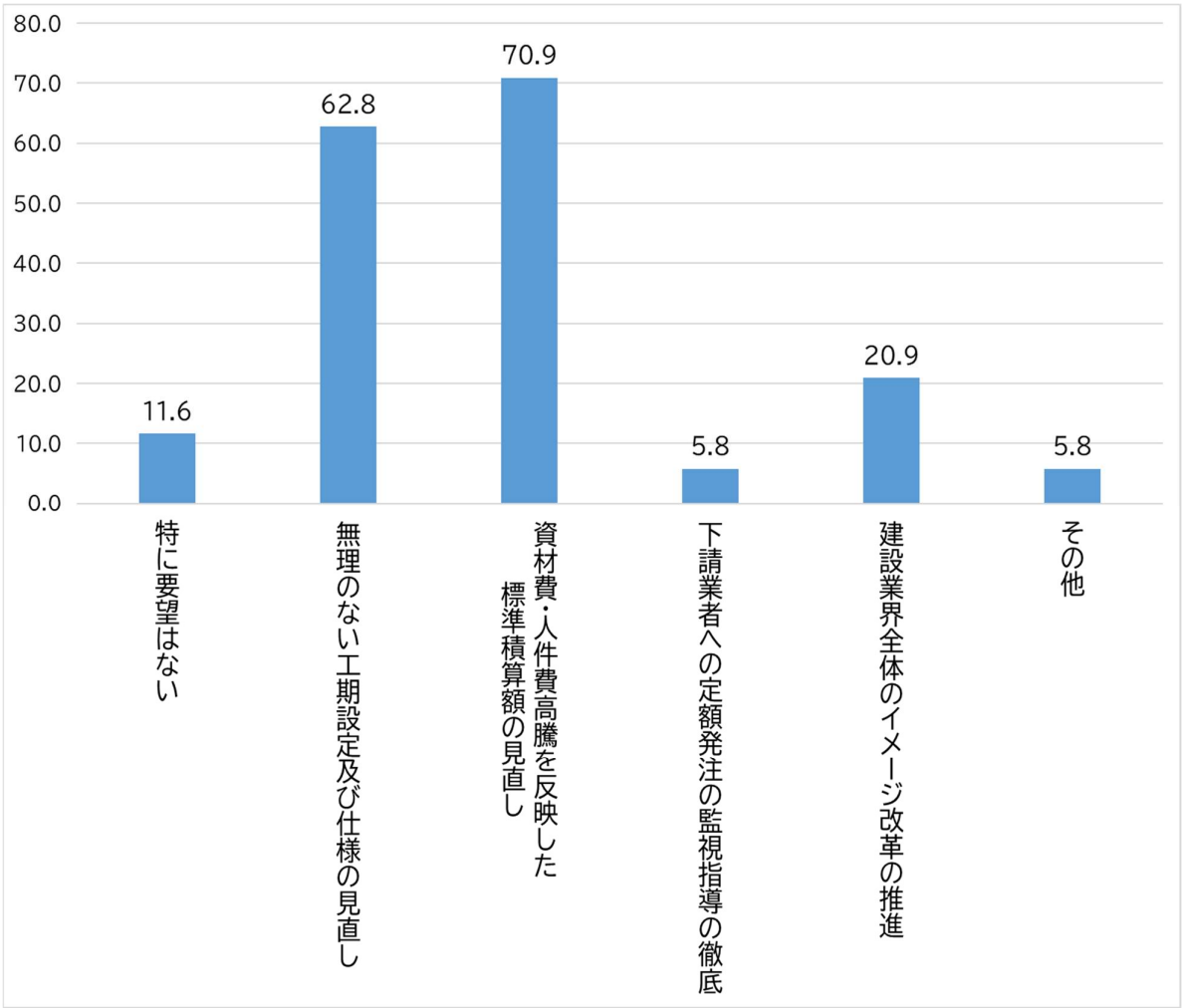
※各項目の回答数/設問の回答人数

設問7　人材確保対策として取り組んでいること（複数回答可）



※各項目の回答数/設問の回答人数

設問8　週休2日制、労働時間削減に係る発注者への要望（複数回答可）



※各項目の回答数/設問の回答人数

設問9　労働時間削減等に関するご意見（概要）

・労働時間削減に伴い、給料減額になるのであれば、土曜日も出勤したいと希望するスタッフが複数名います。また、会社としては、労働時間削減に伴う生産性の低下を懸念しています。工期に影響が出ないよう、従業員のスキルアップ・意識改革、ムダを減らす業務の効率化、成果の維持など、生産性を保てるようにバランスを整える必要があるため、かなり時間を要します。

・労働時間の削減に伴い、休暇の取得が推奨されることで、社員の疲労回復やモチベーション維持につながると思います。

・公共工事で週休2日制を実施しても、民間工事は完全な週休二日となってないので、土曜日はその現場に派遣されていませんか。

　全事業では労働者数（パート含む）増加しているが、総労働時間は横ばいだと聞いた事がありますが、これでいいのかとの疑問はあります。

・村町発注物件は週休 2 日になってない。

・沖縄県の標準積算額をあげてほしい。現在の額では給与の支払いも限られますが、この金額で人材募集をかけても応募がない。

・これまで以上に書類の簡素化を進めていただきたい。完成検査時期になると時間外労働が増える為、完成書類の簡素化も進めていただきたい。

　設計労務単価・工事価格を引き上げていただきたい。そうすると、弊社としてもDX など時間の省力化に取り組む財源が確保できる為。

・今年は特に台風の影響大きく、土地造成現場の進捗がかなり遅れる可能性大

工期延長等柔軟に対応お願いします。

・元請への要望：朝礼が早いため、やむを得ず時間外労働が発生する。朝礼の時間や運用を検討してほしい。

　下請けなので、元請けが週休二日制を導入しない状況では下請け単独では導入が出来ないのが現実です。週休二日制の導入を徹底してほしい。

設問 10　本件説明会に関するご意見（概要）

・　国・県の講師の方から貴重なお話を聞けて参考になりました。

　これからのインフラ整備のために若手技術者育成を中心に魅力ある産業にする為、働き方改革を進めています。ただ、市町村の担当はまだまだ昔ながらの進め方（国・県ほどの意識がない）のが現状だと思います。同じ公共工事ですので、市町村の担当者にもこのような説明会を受講してほしい。

　これから建設業を魅力ある産業にするためには、私たち受注者はもちろん、発注者との共通認識が必要だと考えます。

・　リモートでの開催も希望します。

・　該当するものがないか等、働き方改革推進支援センターに相談することも考えたいと思います。

※説明会の開催方法等に関するご意見につきましては、運営事務局において内容を確認し、今後の説明会開催に係る協議事項とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。